



広報

福島県大熊町

思いが夢になる。希望が町になる。

おおくま

4

2019

No. 561



大熊町のカルタができました

特集・2019年度施政方針と予算

町の名所や祭り、特産品、イベントなどを題材にした「おおくま・おらほのカルタ」が完成しました（記事10ページ）

2019年度 大熊町の施政方針

3月7日から20日まで開かれた大熊町議会定例会の初日、渡辺利綱町長が2019年度の施政方針を表明しました。これは、4月からの町政運営の基本方針、重点施策、予算等を町民の皆さんに説明したものです。今回は特に重要と位置付ける施策を一部要約してご報告します。

役場新庁舎

大川原地区に建設を進めていた役場新庁舎が、3月末に完成しました。今月、開庁式を開催し、5月7日から新庁舎での業務を開始する予定です。

税務

避難生活が続いており、引き続き被災者の税負担軽減を図る減免措置を講じます。

避難指示解除後の課税については、先行解除された隣接町村の実績、法令等を踏まえ、避難指示解除区域での固定資産税、国民健康保険税の課税再開の準備をします。

個人町県民税の減免率変更について、2023年度を目途に1000万円を超える高額所得者に対する減免の廃止を検討し、合わせて全体を見直していきます。

特定復興再生拠点区域

2020年3月までにJR常磐線全線開通および大野駅周辺の一部先行解除を目指し、2022年春の区域内全面解除を目標に区域の整備を進めます。

また、今後続く復興事業の際の用地取得を一挙に担う新しい組織とし

て用地対策室を新設し、事業に遅れを生じさせない体制を構築します。

特定復興再生拠点区域外

除染等に伴う不燃物を取り扱うリサイクルセンターの誘致が進められています。この用地を特定復興再生拠点区域に含め、区域の一部拡大を目指します。同様に他の拠点区域外の地域も、区域への拡大を進めるとともに、残された区域の除染および避難指示解除の時間軸や手法を早急に示すよう、引き続き国に求めます。

第二次復興計画

1月に町民向けアンケートを実施し、計画の改訂版を取りまとめました。アンケートの集計結果と合わせ、皆さんのお手元に届けます。改訂内容は実施計画に落とし込み、遅れないようしっかりと進めます。

大川原地区復興拠点

役場庁舎や住宅、商業施設、福祉施設などが完成していきます。その他の土地は駅前地区の整備計画と調整し、じっくりと用途を検討します。

まちづくり公社

不動産利活用事業は昨年末現在、土地の活用を希望する申し込みが

120件ありました。引き続き登録申込み件数を増やすとともに、町民の皆さんのニーズに合致する用地の紹介ができるよう継続します。公社と連携し駅前等、特定復興再生拠点区域内外の整備復興を進める考えです。公社の帰還環境整備推進法人としての役割を踏まえ、町民が帰町する上での必要な体制や組織、支援のあり方等を検討します。

賠償

必要とされる賠償の継続をしっかりと求めるとともに、迅速な支払いを行うよう、国や東京電力に対し引き続き要望します。

中間貯蔵施設

環境省によると、昨年末現在、1652人の地権者の方から契約をいただき、中間貯蔵施設用地の全体面積約1600ヘクタールの約67.3%に当たる約1076ヘクタールを取得しました。引き続き、地権者の皆さんの理解、汚染土壌の施設への運搬時および施設自体の安全性の確保、そして最大の懸念事項である30年以内の県外搬出および最終処分の実行を求めます。



国民健康保険

特定健診・特定保健指導の受診率向上など、医療費適正化の取り組みを強化します。

なお、一部負担金の免除措置が2020年2月まで延長されました。今後も避難生活が続く限り、国に財政支援を要望します。

福祉行政

長期の避難生活に応じた支援に加え、2019年度は町内の災害公営住宅整備を見据えた事業展開が必要となります。大熊町社会福祉協議会と連携しながら、生活支援相談員配置事業による見守り活動を充実させ、併せて避難者支援事業によるサロン活動を通してのコミュニティ活性化を図ります。

高齢者福祉

町内での緊急通報システムによる高齢者世帯等の見守りと、医療機関への外出支援サービス事業を再開します。また、町内福祉サービスの拠点として、大川原地区復興拠点内に認知症高齢者グループホームや住民福祉センター等の福祉施設を整備し、2020年度春の開所を目指します。

児童福祉

2018年度に実施した子育て町民ニーズ調査等に基づき、「大熊町第2期子ども・子育て支援事業計画」を見直し、町民に寄り添った計画として子育て支援を充実させます。

プレミアム付き商品券

消費税・地方消費税10%への引き上げが低所得者・子育て世帯の消費に与える影響を緩和するとともに、地域における消費を喚起・下支えることを目的として、プレミアム付き商品券事業を実施します。

保健衛生

生活習慣病の発症予防および重症化予防のため、特定健診の受診率向上を図り、企業等も含め関係機関と連携して特定保健指導の取り組みを強化します。

また今年度、「大熊町自殺対策計画」を策定し、精神保健の向上も図ります。

母子保健

今年度、「子育て世代包括支援センター」を立ち上げ、安心して子育てができるよう、保健・福祉・教育等の関係機関と連携し、妊娠期から子

育て期にわたるまで切れ目のない支援体制を構築します。

町内の医療環境

町民が安心して帰町できるように健康相談教室を実施するとともに、町立診療所の整備に向け準備を進めます。また、休止中の県立大野病院の早期再開を引き続き県に要望します。

放射線対策

放射線による健康不安に対応するため、帰町に合わせて総合相談窓口を設置します。

介護保険

第8期介護保険事業計画の策定に向け高齢者のニーズ調査を行います。今年度も第1号被保険者介護保険料の減免と利用者負担金の軽減措置を行い、経済的な負担を軽減します。

応急仮設住宅

恒久的住宅への移行が進み、減少した入居者の孤立や防犯上の問題が生じるため、応急仮設住宅の集約を進めています。今後も統廃合を検討するとともに、経年劣化による不具合に対しても速やかに対応するなど、適正な維持管理に努めます。

公営住宅

帰町を選択した町民や企業の従業員・研究者が安心して居住できる環境を整備することを目的に、大川原地区の復興拠点内に災害公営住宅50戸と公的賃貸住宅40戸を整備しています。災害公営住宅は1月に入居予定者の抽選を行い、50戸すべてで入居予定者が決定しました。6月中の入居開始を予定しています。公的賃貸住宅は5月下旬に募集を開始し、10月からの入居開始を予定しています。今後、復興拠点の整備状況に応じ、新たに帰還を選択される方に対応するため、災害公営住宅第2期分として40戸程度を新たに整備する予定です。

生活再建促進交付金

中間貯蔵施設の整備に伴う、長期避難の生活支援を目的とした「生活サポート補助金制度」の事業期間が10年間で長期にわたるため、亡くなられた方にはその後の分を支給できないほか、支給に係る事務委託料が高額となるため、この制度を2018年度分までで終了します。代わって、町に戻られる方や今後も避難先での生活を余儀なくされる方の生活再建の一部に充てるため、新

たに「生活再建促進交付金制度」を創設し、震災時に町民だった方に一人当たり70万円を交付するための予算を今年度当初予算に計上しました。

一方、町内に帰還される方への支援として、新たに引越越し費用の補助制度なども展開します。

町営墓地

大川原地区に新たな町営墓地の供用を開始しますので、募集等の準備を進めます。

防犯対策

防犯カメラを50台増設するとともに、車のナンバー認識システムでの監視、帰還困難区域での巡回警備、帰還困難区域以外での見回り隊の巡回を継続します。また、役場庁舎の開庁に合わせ、大川原第一集会所を双葉警察署の臨時駐在所として運用し、地域の人が安心して暮らせるよう防犯強化に努めます。

消防団

避難により消防団活動が困難になっていますが、随時、団員の募集を継続し、帰町した住民宅への訪問、消防団の資機材の安全管理や町内の防火用水等の確認、検閲や訓練を

実施し、帰還まで消防団の継続強化に努めます。

道路復旧等

震災により道路、水路、河川、海岸等が甚大な被害を受けたままです。帰還困難区域でも国・県の協力を得ながら復旧に努めるとともに、道路の整備、熊川の海岸堤防、河川の護岸整備を進めます。

大川原地区復興拠点では、今年度内の造成工事完成を目指し、地区外からの幹線道路の整備・計画を進めます。

除染

特定復興再生拠点区域内の除染が進められています。併せて本格的なインフラの整備や拠点としての位置付けを進めるとともに、今後も町内全域の除染を引き続き国に要望します。

JR大野駅周辺

JR常磐線は2019年度末の全線開通に向けて残る富岡～浪江間の整備が順調に進められており、町としても、大野駅舎や震災前に整備途中であった駅東口、そして駅西口の整備に向けてJR東日本と協議をしながら進めています。



大熊ーC

大熊インターチェンジの供用開始に伴い、県道35号線（山麓線）・インターチェンジ・国道6号線までの町道・県道を自由通行としました。交通量の増大が見込まれ、通行の安全を確保するため、中間貯蔵施設に出入りする大型車両のための専用道路の整備を、引き続き進めます。

農林水産

すでに大川原で出荷目的のタマネギが生産されており、昨年8月にはJA福島さくらを通じて震災後初となる野菜の出荷が実現しました。今後は福島大学と連携し、町内で栽培された農作物の放射能測定調査を行うとともに、国・県などの指導のもと、水稲の出荷制限解除に向けた実証栽培を継続し、除染後農地での水稲栽培マニュアルを作成します。

農地保全

大熊町農業復興組合による除染後の農地を対象とした草刈・耕起に加え、今年度からは地力増進作物の播種など新たな試みも実施します。

帰還困難区域内の農地活用および保全を目的としたバイオマス活用事業は、半年に及ぶ検討会を終え、具

体的に方向性が見えてきました。今後は農地保全とバイオマス活用事業の一元的な展開を図ります。

いちご栽培施設

4月から施設管理運営者「株式会社社ネクサスファームおおくま」による栽培が開始されます。この事業により帰還町民の雇用創出、営農意欲の向上を図ります。

商工業

大川原復興拠点に整備する商業施設は5月に仮設店舗、来年2月に本施設の整備を目指します。また、宿泊温浴施設も2020年中の完成を目指します。

ふるさとまつり

大熊町内での開催を計画しています。震災後初となる古里での開催です。笑顔あふれる交流の場を提

下水道

特定復興再生拠点の整備に向け管路を調査しています。処理施設についても現地調査を行います。

学校教育

それぞれの家庭の事情により園児

児童・生徒数の減少に歯止めがかかりません。子どもたちに「大熊町の学校で学んでよかった」と言ってもらえるような、豊かで、質の高い教育環境を整備します。具体的には、本年度も読書活動と体験活動を柱に、小規模校の良さを最大限に生かし、一人ひとりの能力や個性を引き出す教育を徹底します。

新しい教育長とともに常勤の指導主事を新たに配置し、学校教育の充実に努めます。

社会教育

2017年度に立ち上げた「地域学校協働本部」を仲立ちとして、社会教育主事を先導に子どもたちの「ふるさと創造学」の学習活動とおもしろさ、町民の学ぶ機会となるよう工夫します。

文化財レスキュー

文化財等の保護、特に民間所有の文化財のレスキューおよび震災遺構の保全に努めます。歴史的公文書の保管も含めたこれらアーカイブズとして収集した資料は、町アーカイブズ検討委員会で、展示をはじめ具体的な活用方法、施設の建設・設置を可能な限り速やかに検討します。

帰町元年、全力で

大熊町長 渡辺利綱

日本は間もなく新元号に変わり、新しい時代を迎えます。これになぞらえ、私は本年を大熊町の「帰町元年」と位置付け、職員一丸で町民のため、古里のため、そして大熊町の新しい時代のため復興に全力を尽くす所存です。

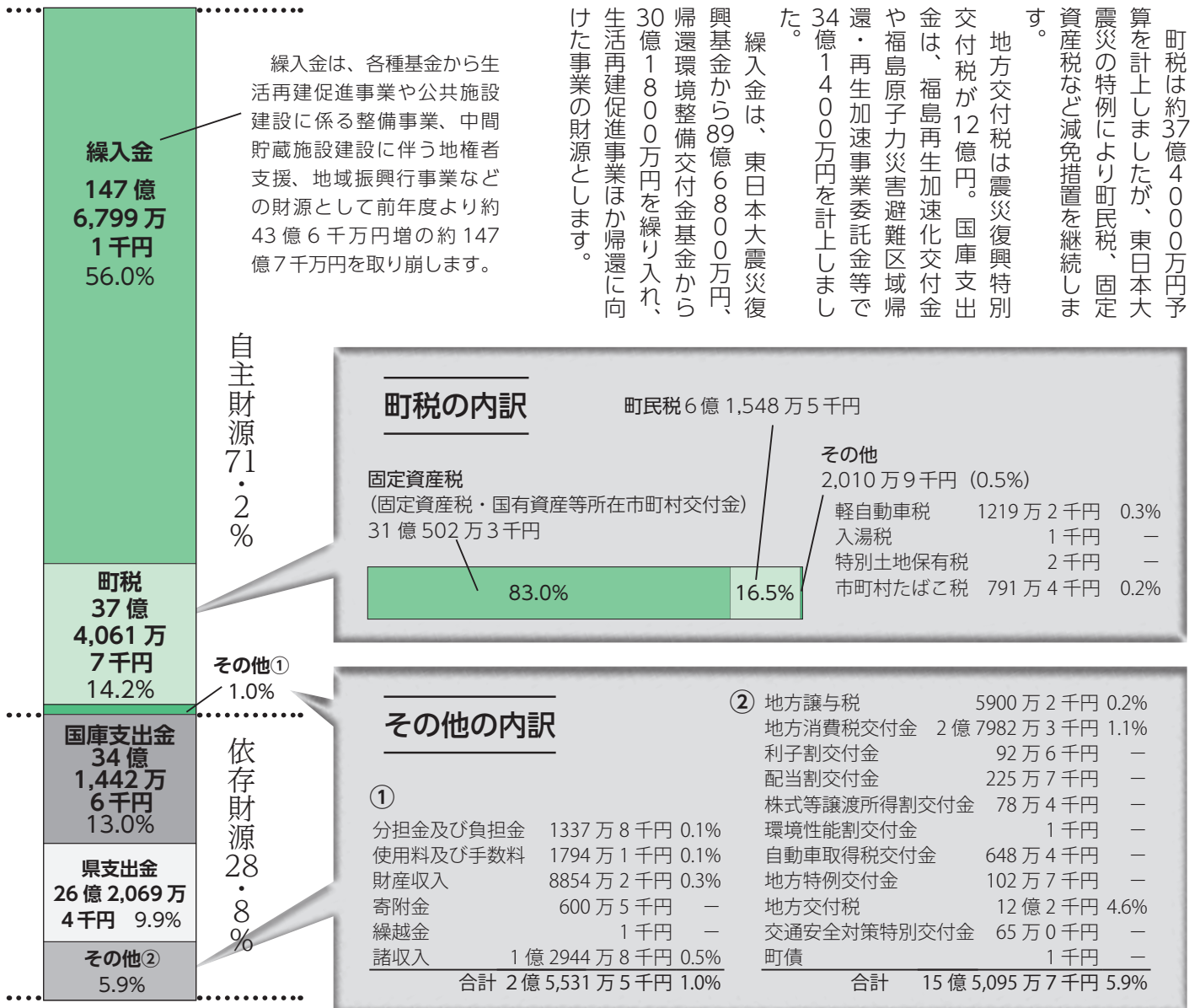
役場新庁舎での本庁舎業務の再開は、復興に向けた一つの通過点に過ぎません。しかし、これをきっかけに町の風景は大きく変化するでしょう。引き続き、帰還を選択できるまちづくりを進めます。

避難先の方に対しては、今後も安心して暮らせる支援体制の確立に加え、古里の絆を確認できるような施策のあり方も探ります。町に関心を持ってもらい、まちづくりに参加してもらい、魅力ある町の将来像とともに考えられたら、と願っています。



3月に開催した第1回大熊町議会定例会で2019年度一般会計当初予算、その他12の特別会計当初予算が可決されました。避難指示の一部解除を最重点施策とし、帰町環境整備と避難する町民コミュニティの支援、生活再建促進事業などの主要施策に取り組む予算編成となりました。この結果、一般会計当初予算額は過去最大の263億5,000万円となりました。

歳入



用語の解説

自主財源

町税や手数料など町が自らの収入とすることができるとする財源

依存財源

国や県の意思で定められた額を交付されたり割り当てられたりする財源

線入金

一般会計と特別会計、基金等の会計間で移動するお金

町税

町民税や固定資産税など皆さんが納めた税金

国庫・県支出金

町が行う特定の事業に対して、国や県から交付されるお金

地方譲与税

国税として徴収したお金を、定められた割合で地方自治体に譲与するお金

民生費

社会福祉、児童福祉、高齢者福祉、障害者福祉、生活保護、国民年金、災害援助などの事業に要する経費

総務費

人事、企画、財政、戸籍、統計や交通安全など、他部門に分類されない事業に要する経費

2019年度 大熊町の当初予算

一般会計 263 億 5,000 万円 (過去最大)

歳出



長期避難の生活支援を目的とした生活サポート補助金に代わるものとして、生活再建のための生活再建促進交付金制度（77億円）を創設しました。

大川原地区の復興拠点では、帰還者向け災害公営住宅等整備事業（38億8千万円）や福祉関連施設（7億6千万円）商業施設（6億6千万円）交流施設（6億6千万円）宿泊温浴施設（3億9千万円）の整備を進めるとともに、町内の防犯対策事業（2億6千万円）や町道維持事業（1億3千万円）など、安心して帰町・居住できる環境を築きます。

長期避難が継続する町民への施策として、タブレット端末を活用し分かりやすくタイムリーな情報提供と町民同士の情報交換が可能になるICT利活用事業（2億4千万円）など、県内外に避難する町民の「コミュニティ支援事業も継続して実施します。

特別会計

35 億 4,615 万 1 千円

①坂下ダム施設管理事業	6,300 万円
②国民健康保険	21 億 9,647 万 9 千円
③奨学資金貸与	817 万 2 千円
④地域下水道事業	191 万 9 千円
⑤特定環境保全公共下水道事業	6 万 5 千円
⑥農業集落排水事業	623 万 1 千円
⑦住宅団地造成事業	5 万 1 千円
⑧工業団地造成事業	5 万 1 千円
⑨中央台壺園管理事業	24 万 6 千円
⑩介護保険事業	12 億 4,456 万 4 千円
⑪後期高齢者医療	2,536 万 7 千円
⑫やすらぎ壺園管理事業	6 千円
合計	35 億 4,615 万 1 千円

農林水産業費 12 億 7,675 万 5 千円

商工費 12 億 6,199 万 9 千円

教育費 5 億 4,914 万 3 千円 (2.1%)

衛生費 4 億 9,944 万 3 千円 (1.9%)

消防費 3 億 3,377 万 7 千円 (1.3%)

議会費 8,840 万 5 千円 (0.3%)

その他 1 億 9,617 万 4 千円 (0.7%)

災害復旧費	8888 万 2 千円	0.34%
公債費	1 千円	-
諸支出金	6729 万 1 千円	0.26%
予備費	4,000 万円	0.15%

- 土木費**
 - 道路維持、都市計画、復興拠点整備事業、仮設住宅管理などに要する経費
- 農林水産業費**
 - 農業、林業、水産業の事業に要する経費
- 商工費**
 - 商工業の振興、観光振興などの事業に要する経費
- 教育費**
 - 学校教育、生涯学習、スポーツ振興などの事業に要する経費
- 衛生費**
 - 保健衛生、母子保健、廃棄物処理、公害対策などの事業に要する経費
- 消防費**
 - 消防、防災事業などに要する経費
- 議会費**
 - 議会の活動に要する経費
- 災害復旧費**
 - 大雨、暴風、地震などの災害によって生じた被害の復旧に要する経費
- 公債費**
 - 地方公共団体の借入金等の元金および利子を支払うための経費
- 諸支出金**
 - 他の歳出科目のいずれにも分類されないもので特別会計への操出金などの経費

震災8年、各地で追悼の催し



会津若松出張所前で午後2時46分に祈りをささげる人たち



追悼式で花を手向ける参列者

東日本大震災と東京電力福島第一原発事故から8年となった3月11日、町役場会津若松出張所でおおくま町会津会主催の復興祭が開かれました。羽にメッセージを記した折り鶴を前庭に飾り、地震が発生した午後2時46分に黙とうをささげました。また、庁内の一室につるし雛が飾られました。JR大野駅周辺のジオラマ模型も展示され、思い出の場所を見つけて懐かしむ姿が見られました。

いわき市の斎場では町主催の追悼式が行われました。遺族や町民など約70人の参列者が花を手向け、犠牲者をしのびました。

避難指示解除で住民説明会 町民から不安や要望聞く

大川原・中屋敷の避難指示解除にかかる住民説明会が3月9、10の両日、県内3会場で開かれました。解除にあたってのインフラ復旧状況などを説明するとともに、町民の皆さんから広く意見を聞くため実施し、合わせて約100人が参加しました。町民の皆さんからは、放射性物質への不安、防犯や鳥獣対策の強化、携帯電話の基地局増設を求める声などが挙がりました。



改訂内容を報告 町の第二次復興計画

大熊町第二次復興計画の改訂案が2月27日、町に示されました。2015年3月に策定された同計画は、その後の町内の環境変化や避難の長期化などに対応する必要性が生じていました。有識者や町の各課長補佐でつくる検討委員会が昨年からの改訂内容を検討してきました。初沢敏生委員長が渡辺利綱町長に改訂の報告書を手渡しました。(詳細 14 ページ)





大熊中で卒業式、9人巣立つ



答辞を述べる市川さん



校歌を斉唱する大熊中の卒業生



卒業証書を受ける卒業生

大熊中学校の卒業式が3月13日、会津大学短期大学部体育館で行われ、男子3人、女子6人の合わせて9人が巣立ちました。

早川良一校長が卒業証書を手渡し「一人ひとりかけがえない良さを持っている。自分の良さを伸ばしてください。一歩踏み出す勇氣を持って、積極的にチャレンジしてください」と式辞を述べました。

卒業生を代表して市川綾花さんが「それぞれの道を歩んで行きますが、一歩一歩力強く未来に向かって進んでいきます」と誓い、最後に卒業生が家族や恩師、友だちに向けた感謝の言葉を代表して発表。「高校へ行っても親孝行できるようにがんばります」「先生方のおかげで、3年間で成長できました」「辛いことも嬉しいことも、一緒に分かち合ってくれてありがとう」など心温まるメッセージが一つ一つ紹介されました。

希望が伝わる絵本完成 大熊中卒業の七海さん制作



大熊中を3月に卒業した七海久玲愛さんが制作した絵本が完成しました。震災前後の町の記憶と未来への希望を伝えたいと、ふるさと創造学のテーマに設定して調べました。町の特産物、震災・原発事故と避難、夢あふれる将来の町などを、自作のイラストや写真を交えてまとめた一冊です。七海さんは「調べてきたことが形になってうれしい」と話していました。

1人の卒園を見送る 町立幼稚園で修了式



町立幼稚園の修了式が3月19日、会津若松市内の同幼稚園で行われ、後藤愛琉^{あいりゅう}さんが卒園しました。末永幸弘園長が修了証書を手渡し「みんなが応援しています。感謝の気持ちを持ち続けてください」と述べました。愛琉さんは「大きくなったらお花屋さんになりたい。いつもありがとう」とあいさつしました。在園児とお別れの歌を歌い、保護者や教職員らに見送られ巣立ちました。

選ばれた46枚の読み札

あ 秋あげに 町民にきわう ふるさとまつり	い 一里塚 熊町と 五郎四郎の 二ヶ所あり	う 海開き みんなで引いた 地引き綱	え えいえいおー！ みんなで頑張る 町民体育祭	お 大野駅を つるに石田茂宗 尽くしたり	か 顔晴ろう！ 未来へ向け 大熊っ子	き 騎馬隊の ひづめの音も 勇ましく	く 熊川を 元気にのぼる 鮭のむれ	け 元気いっぱい ちびっこたち 大野・熊町幼稚園	こ 子どもみこし 聖徳太子祭 ワッショイ ワッショイ
さ 坂下の ダム湖に映える 桜かな	し 初發神社 民話 「はなどり」 地蔵さん	す スポーツで 闘志揺るがす 大熊スボ少	せ 先人の 暮らし学べる 伝承館	そ 爽快な 汗を流せる スポーツセンター	た 立ち並ぶ 鮎釣る卒の 滑津川原	ち 長者原 じゃんがら念仏 太鼓踊り	つ つぎこうよ おおちゃん くうちゃん まあちゃんを	て 伝統を 大事にしています 稚見鹿舞	と 特攻隊員 育てし 夫沢飛行場
な 梨の花 白いじゅうたん 町染める	に 賑やかな 笑いが絶えない 町民号	ぬ 温もりの 商店街 myヘアカード	ね 眼たさと 寒さこらえた 初日の出	の 農繁期 結の貸し借り 助け合う	は 藩公の 湯治場だった 玉の湯温泉	ひ 日隠山を 海渡神社から 見る夕日	ふ 故郷の 想いを描く おおくま・ おらほのカルタ	へ 遍照寺 大熊町には 寺ひとつ	ほ 眞舞う 夜の小川へ 家族連れ
ま 薪背負う 金次郎像立つ 大野小	み 三ツ森山の アジサイ小路 懐かしい	む 向かう図書館 高く大きな 時計台	め 恵まれた 自然豊かな 大熊町	も モリアオガエル 今年も育つ 万石工門の池	や やぐら太鼓 ひびきみんなで 盆踊り	ゆ ゆったりと ドライブしようよ にいばっぱ	よ よきこいに こいのぼり舞う 大中生		
ら 意気高らかに 出初式	り 立派な ホールが自慢の 文化センター	る みんな笑顔で わんぱく広場	れ 列をなし ワイワイ ガヤガヤ 集団登校	ろ ろろんで 始まる 熊小校歌	わ 我が町の 特産品 梨キワイフルーツ・ ワインもね	を 馬の背を 歩く釣り人 命がけ	ん 「んだんだと」 思わずうなずく 大熊弁		

完成、おらほのカルタ

12月にお届けする予定です

<実行委員の皆さん>

- 浅野孝さん
- 尾内武さん
- 山本三起子さん
- 石橋英雄さん
- 庄子ヤウ子さん
- 鎌田清衛さん
- 泉順子さん



カルタの完成を喜ぶ関係者



斎藤さんがデザインした箱の絵

大熊町の風景や文化などをうたった「おおくま・おらほのカルタ」が完成しました。3月14日に町役場会津若松出張所で行った贈呈式でお披露目されました。

震災前の大熊を後世に伝えるため、NTTドコモの東北応援社員募金を活用させていただき、制作しました。事前に読み札を募集したところ、町民の皆さんから約500作品が寄せられました。町民代表と町職員などのでつくる実行委員会が「あ」から「ん」まで46札を選びました。

熊川のサケや日隠山、馬の背岬、聖徳太子祭など震災前の暮らしや自然が、親しみあるイラストとともに紹介されています。読み札にはミニ解説も付けました。カルタを入れる箱の絵は、町民の斎藤真知瑠さんが担当しました。

おらほのカルタは12月に配布予定の生活応援支援物資と一緒に町民の皆さんにお届けします。

問 おおくままちづくり公社
0246(85)5237



大熊産のコメを仙台で配布 震災後初めて一般提供

東日本大震災の復興応援イベント「食べて応援しよう in 仙台」が3月16、17日の2日間、仙台市内で開かれ、16日に大熊町産のコメが無料で配布されました。昨年大川原地区で実証栽培したコメが、収穫後の検査で国の基準値を下回ったことから、震災後初めて一般に提供されることになり、町農業委員会の根本友子会長が、小分けした袋を来場者に手渡しました。



晴天のゲレンデを滑走 アルツ磐梯でスキー・スノボ教室

町主催のスキー・スノーボード教室が2月24日、磐梯町のアルツ磐梯スキー場で開かれました。震災後初めて開いた昨年に続く開催。晴天に恵まれたゲレンデには小中学生を中心に約40人が集まり、スキーとスノーボードに分かれてインストラクターから滑り方を教わりました。参加者は滑走を楽しみながら練習を重ね、上達を目指していました。



おおちゃん小法師が人気 埼玉・飯能市の復興市に参加

埼玉県飯能市で3月10日に開催された「震災復興元気市」に大熊町が参加しました。元気市への参加は今年で4回目で、今年もおおちゃん小法師を販売しました。子ども連れの家族を中心に絵付け体験が盛況で、個性あふれるおおちゃんがいくつも誕生していました。おおちゃん小法師の着ぐるみは、常に子どもたちに囲まれる人気ぶりでした。



原田環境相が町内視察 町から2項目を要望

原田義昭環境大臣が3月3日、大熊町内のJR大野駅と大川原復興拠点を視察しました。渡辺利綱町長が最新の復興状況を説明しました。また①中間貯蔵施設の安全確保②帰還困難区域全域の復興について、原田大臣に要望しました。

この日は公明党復興加速化本部の井上義久本部長も町内を視察しました。

一時立ち入りスケジュール

【一時立ち入り受付コールセンター】

☎ 0120-220-788（フリーダイヤル）

一時立ち入りをする際には申し込みが必要です。

実施スケジュールをご確認の上、コールセンターへお電話でお申し込みください。

■申込受付時間

平日……………午前8時～午後8時

土日祝日…午前8時～午後5時

※ 2019年度の一時立ち入りは、4月13日（土）から実施します。申込受付開始は4月4日（木）です。

・お盆、お彼岸は立ち入りの安全確保等の観点から、基地ごとの受付上限世帯数を設けさせていただきます

・資料の送付先を変更する場合は、必ずコールセンターに変更内容をご連絡ください

・予約時は問い合わせ番号を伝えていただくと、手続きがスムーズに進みます。問い合わせ番号は各世帯固有の番号です

・立ち入り休止日にやむを得ぬ事情（命日による墓参の立ち入り等）により立ち入りを希望する場合は、事前（10日～2週間前まで）に環境対策課へご相談ください

◆ 2019年度の一時立ち入りの注意点◆

■立ち入り回数

年間30回が上限ですが、状況を踏まえ31回目以降も認める場合があります。

■立ち入り時間

午前9時から午後4時までの最大7時間です。

■当日受付

次の5つのスクリーニング場で実施します。午前9時～正午にお越しください。

（浪江町）津島活性化センター、加倉、高瀬

（富岡町）高津戸、毛萱・波倉

スタッフに当日受付を希望する旨と「問い合わせ番号」、世帯主の氏名をお伝えください。

※お盆、お彼岸の時期とその後の期間（8月17日～27日、9月27日～10月4日）や水、木曜日の開催日は受付できません。事前にお申し込みください。

※事前に予約した方に比べ、受付に時間がかかる可能性があります

■帯同車両台数

世帯主車両と同行するご親戚や引っ越し業者等の車両は、津島活性化センター、加倉、毛萱・波倉の各スクリーニング場で受付する場合は5台まで可能です（世帯主車両と合わせて6台）。ただし高瀬、中屋敷、大川原、高津戸の各スクリーニング場については、これまで同様2台までです。

◆ 当日の注意点◆

立ち入り当日は次のものを忘れずにご持参ください。

①立入者名簿（3枚複写式。事前に立ち入る方全員のお名前、生年月日、連絡先をもれなくご記入ください）

②免許証などご本人確認できるもの（立ち入る方全員分）

③世帯主からの委任状（世帯主のご家族を除く代理人による立ち入りの場合）

※中継基地で通行証、個人線量計、防護装備等をお渡しします。お帰りの際、中継基地で返却し、スクリーニングを受けていただきます

4月 & 5月

実施スケジュールや最新の予約状況は専用ホームページでご覧いただけます。
(<http://www.ichijitachiiri.com>)

マイカーでの立ち入り

マイカー立ち入り 立ち入り 休止

4月																																
日		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	
曜日		月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	
スクリーニング場	①津島活性化センター																															
	②加倉																															
	③高瀬																															
	④中屋敷																															
	⑤大川原																															
	⑥高津戸																															
	⑦毛萱・波倉																															

5月																																	
日		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	
曜日		水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	
スクリーニング場	①津島活性化センター																																
	②加倉																																
	③高瀬																																
	④中屋敷																																
	⑤大川原																																
	⑥高津戸																																
	⑦毛萱・波倉																																

※立入者数等を制限して開催します。詳細は追ってスクリーニング場等でご案内します

バスでの立ち入り

年		2019年																2020年	
月		5月		6月		7月		8月		9月		10月		11月		12月		3月	
日		10	11	7	8	5	6	9	10	13	14	18	19	15	16	13	14	13	14
曜日		金	土	金	土	金	土	金	土	金	土	金	土	金	土	金	土	金	土
毛萱・波倉 スクリーニング場	大熊町	40 世帯	40 世帯	40 世帯	40 世帯	40 世帯	40 世帯	40 世帯	40 世帯	40 世帯	40 世帯	40 世帯	40 世帯	40 世帯	40 世帯	40 世帯	40 世帯	40 世帯	40 世帯
申し込み締切日		4月9日 (火)		5月6日 (月)		6月4日 (火)		7月8日 (月)		8月12日 (月)		9月17日 (火)		10月14日 (月)		11月12日 (火)		2月13日 (木)	

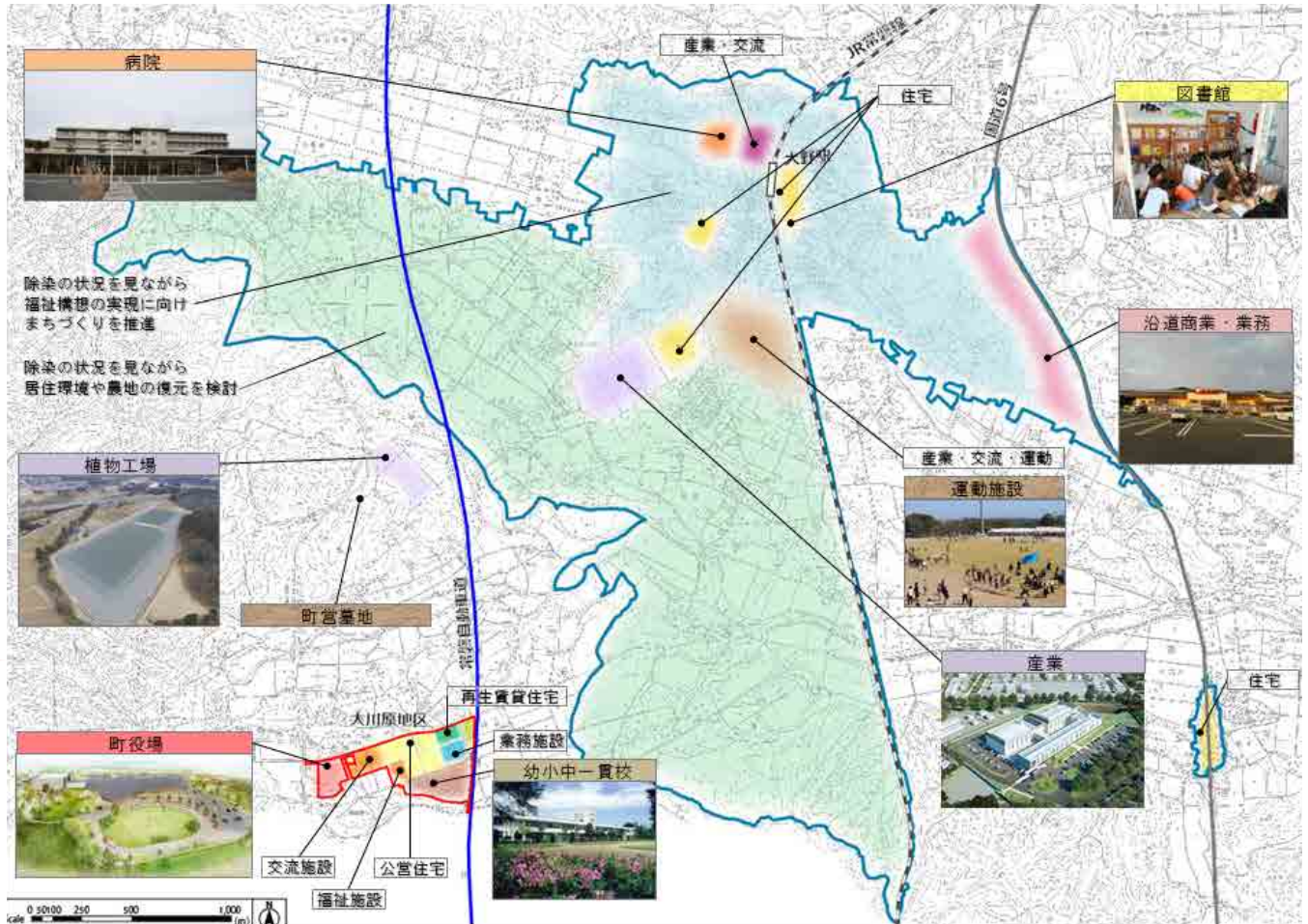
※各月のバス立ち入り初日の1か月前までにお申し込みください

大熊町第二次復興計画を改訂しました



詳細は HP

大熊町第二次復興計画を改訂しました。この計画は、町が目指す復興の姿を表したもので、この計画をもとに復興施策は進みます。改訂のポイントと、改訂に際して町民の皆さんを対象に実施したアンケート調査の要点を紹介します。



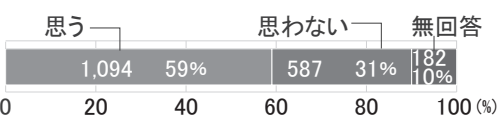
実現を目指す町の姿

※改訂の冊子を各世帯に郵送します。
お時間のあるときにご覧ください。

Q. 町内に働く場があれば、
住む人が増えると思いますか

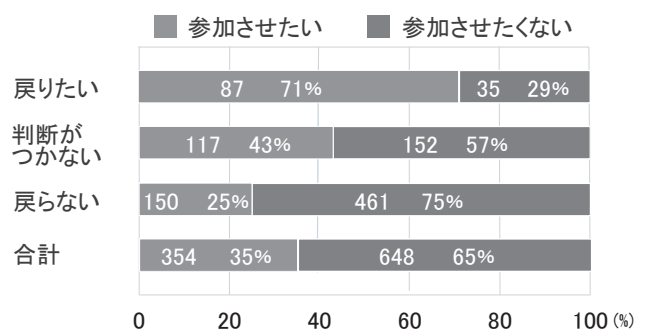


Q. 町内で起業する人がいたら、応援したいですか



定住者の増加につながる働く場の確保、町内起業者を応援したいという声が多かったです。

Q. 子どもたちが町内で短期間、大熊の歴史等を学ぶ機会に参加させたいですか



戻らない意向の方も、2割強が「参加させたい」と回答。戻りたい意向の方は総じて参加意向が強いです。

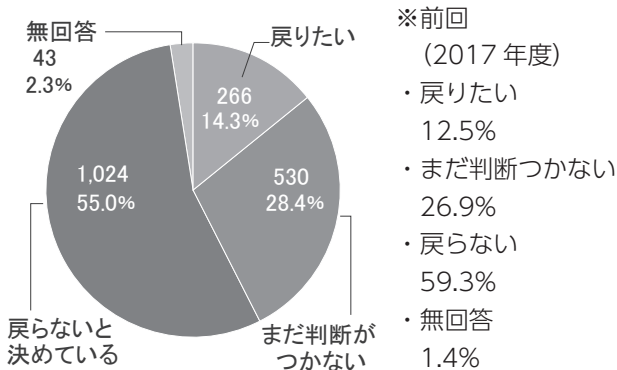
計画改訂アンケート結果

- ★調査期間
1月7日～21日
- ★調査対象数
5,176件
(震災時に住民登録していた世帯の代表者)
- ★回収数
1,863件 (回収率 36%)



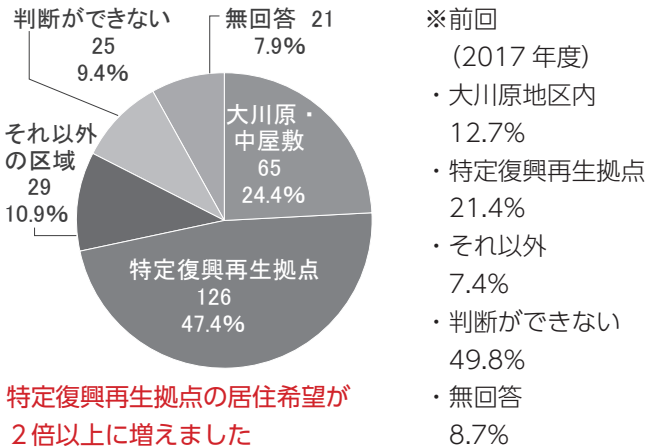
詳細は HP

Q. 避難指示解除後の大熊町への帰還意向



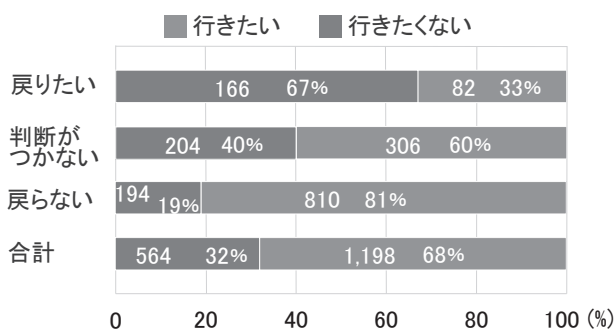
「戻らない」が減少し、「戻りたい」が増加しました

Q. 居住地の希望 (戻りたいと考えている方)



特定復興再生拠点の居住希望が2倍以上に増えました

Q. 大川原で町の祭りや地区のイベント等が開催されたら、行ってみたいですか



ふるさとまつり、盆踊り、花火への参加希望が多かったです。戻らない意向の方も、2割は参加したいと回答。

★計画期間は
2027年3月まで

- ★目指すのは
 - ・避難先・町内どちらでも安定した生活を送れる環境づくり
 - ・帰町したい人が帰町でき、町外からも人が来なくなるまちづくり

★4つの重点施策

町民を取り巻く多様な環境に合わせた

生活の支援

町内では安心・安全の環境づくり、
町外では情報発信と生活の再建状況に応じた重点支援

帰町開始に伴う

行政拠点の再編

新庁舎での行政サービス再開と
避難先での行政サービスを低下させないための取り組み

複数のコンパクトな拠点が融合した

町土復興

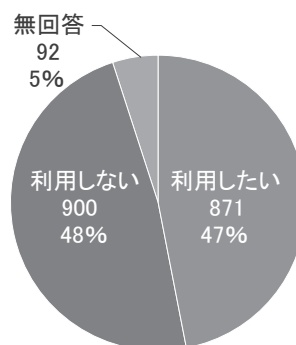
産業・経済構造の見直しの視点に基づく基礎的な生活基盤の確保と拠点間の機能連携に向けた取り組みなど

「多様な主体」と「社会の中での学び」による

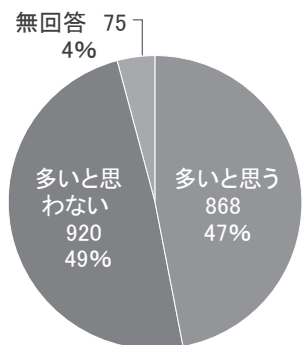
次世代育成

大川原への幼小中教育施設の建設と
教育を支える人材の確保・育成など

Q. 町内の役場に行かず、テレビ電話のある支所等の窓口で相談できれば、利用したいですか



Q. 大川原～大野駅間の公共交通があれば、利用者は多いと思いますか



大熊町役場新庁舎 開庁式を行います

大熊町役場新庁舎が3月、町内大川原に完成しました。町では4月14日、新庁舎開所式を行い、テープカットや内覧会などで新拠点の完成を祝います。

午後からは、一般の皆さんも庁舎内をご覧いただけます。

時 4月14日(日) 午前10時45分～

場 大熊町役場新庁舎
(大熊町大川原字南平1717)

問 大熊町役場会津若松出張所
総務課 行政係

みんなで人文字
おにぎりと豚汁
熊川稚児犬つた鹿舞

同時開催 まちびらきイベント

当日、おおくまコミュニティづくり実行委員会による「まちびらきイベント」が開催されます。新庁舎前広場で人文字を作ったり、昼食におにぎりや豚汁を振る舞ったり、新庁舎の開庁をにぎやかに盛り上げます。

時 4月14日(日) 正午～

場 大熊町役場新庁舎前広場

問 おおくまコミュニティづくり実行委員会事務局
(おおくままちづくり公社内)

☎ 0246-85-5237 (平日午前10時～午後4時)

高齢者

予防接種の種類	対象年齢	接種時期のめやす	接種回数
高齢者インフルエンザ	65歳以上の希望者 ※①を含む	毎年10月～12月を予定 (詳細は広報10月号でお知らせします)	毎年1回
高齢者肺炎球菌	2019年度末年齢が65歳、70歳、75歳、80歳、85歳、90歳、95歳、100歳の方※②生涯で初めて接種する方が対象	2019年度内 (対象者には個別に通知します)	1回

※①60歳以上65歳未満で心臓、腎臓または呼吸器の機能に自己の身の日常生活が極度に制限される程度の障がいや有する方、およびヒト免疫不全ウイルスにより免疫の機能に日常生活がほとんど不可能な程度の障がいや有する方で希望者(おおむね身体障害者1級相当)

※②定期接種や自費で1回接種している、または2回目の接種を希望する方は対象になりません

日本脳炎の特例接種

2005年度～2009年度にかけて積極的な接種推奨の差し控えにより、日本脳炎の予防接種を規程の回数受けられなかった方が無料で受けられます。

対象者	接種の内容	予診票
1995年4月2日～ 2007年4月1日生まれ	20歳の誕生日の前日まで、1期(1回目、2回目、追加)・2期(1回)の合計4回を、定期予防接種として接種できます	【県内】 健康介護課へ お問い合わせください
2007年4月2日～ 2009年10月1日生まれ	9歳～13歳未満(13歳の誕生日の前日まで)に、1期(3回分)の不足分を定期予防接種として接種できます。この場合、定期予防接種で行う2期(1回)は、1期(3回目)の予防接種後6日以上の間隔をあけて接種できます	【県外】 避難先の市町村へ お問い合わせください

任意予防接種

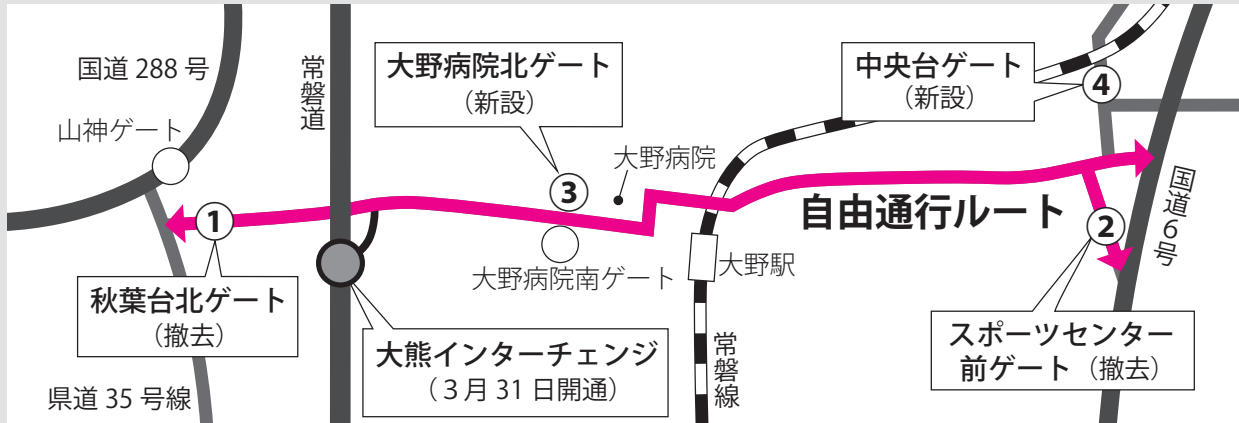
接種するかどうか、本人または保護者に任されています。大熊町では、表の予防接種を償還払いで助成しています。接種を希望する方には申請書を送付します。なお、申請書は各出張所や連絡事務所に備え付けてあり、一部は町公式サイトからダウンロードできます。

おたふくかぜ	満1歳から7歳未満の「小学校就学前」の幼児
ロタウイルス	1価2回(生後6週～24週に達するまで)または、5価3回(生後6週～32週に達するまで)
小児インフルエンザ	生後6か月～中学3年生の子ども ※詳しくは広報10月号でお知らせします
成人風しん	風しん抗体検査、風しん・麻疹予防接種【対象者条件あり】 ※風しん追加対策対象者は除きます。詳細は今後の広報でお知らせし、対象者へは通知します。
肺炎球菌(任意)	肺炎球菌(初めて接種する方で定期接種の対象にならない66歳以上の方)

大熊 IC アクセス道 自由通行になりました

常磐自動車道・大熊インターチェンジの開通に伴い、同インターと県道35号線（通称・山麓線）、国道6号を結ぶ道路が自由通行化されました。これに伴い、周辺のゲートが変更となりましたので、通行の際はご注意ください。なお、防犯のため、**自動二輪は通行できません。**

問大熊町役場いわき出張所 環境対策課



予防接種を受けましょう

問大熊町役場いわき出張所 健康介護課 保健衛生係

定期予防接種

県内医療機関：大熊町の予診票を持参し、直接実施医療機関で接種してください
 県外医療機関：予診票等も含め、避難先自治体へ直接お問い合わせください

子ども

種別	接種		接種回数	
	対象年齢	望ましい接種年齢		
B型肝炎ワクチン	初回	生後1歳に至るまで	2回	
	追加	生後2か月から9か月に至るまで	1回	
ヒブワクチン		生後2か月から5歳に至るまで	※1～4回	
小児用肺炎球菌ワクチン		生後2か月から5歳に至るまで	※1～4回	
四種混合(DPT-IPV) ジフテリア 百日せき 破傷風 ポリオ	1期初回	生後3か月から7歳6か月に至るまで	20～56日の間隔で3回	
	1期追加		1期初回接種（3回）終了後12か月から18か月の間隔をおく	
	2期 二種混合DT	11歳以上13歳未満	11歳に達した時から12歳に達するまで	
BCG		生後1歳に至るまで	生後5か月から8か月に達するまで	1回
麻しん・風しん混合(MR)	1期	生後1歳から2歳に至るまで	1回	
	2期	5歳以上7歳未満 (小学校就学前1年間)	1回	
水痘	初回	生後1歳から3歳に至るまで	生後1歳から1歳3か月に達するまで	1回
	追加		初回接種終了後、6か月から12か月までの間隔をおく	1回
日本脳炎	1期初回	生後6か月から7歳6か月に至るまで	3歳に達したときから4歳に達するまで	6～28日の間隔で2回
	1期追加		4歳に達したときから5歳に達するまで	1回
	2期	9歳以上13歳未満	9歳に達したときから10歳に達するまで	1回
子宮頸がん予防ワクチン (積極的な勧奨をしていません)		小学6年生～高校1年生の女子	中学1年生の女子	3回

おおちゃん
教えて  放射性物質

48

放射線を「見える化」したい

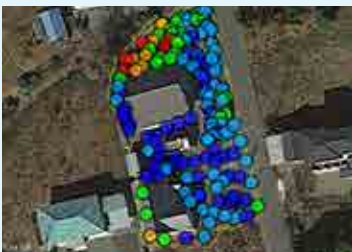
問大熊町役場 環境対策課

放射線は目で確認することができません。放射線が色付きで見られるメガネがあれば、私たちの不安も減るのではないのでしょうか？

下の写真は、ガンマカメラと呼ばれる特殊な装置で大川原のある場所を撮影したものです。赤い部分が周辺より放射線量率が高い場所です。しかし、この装置には大きな弱点があります。もともと、ガンマカメラは原発構内など放射線量率が高いところでの使用を想定しており、除染が完了した大川原のような場所では、測定に時間がかかるのです。



赤い部分は周辺との比較で線量率が高いことを意味していますが、必ずしも危険な数値とは限りません。



時間をかけずに放射線を「見える化」する方法は、ほかにもあります。

この写真は、大川原連絡事務所の線量率を見える化したものです。

これは特殊な測定器とGPSを連動させ、連続的に線量率を測定したものをGPSに連動させて表示したものです。「点」を集めて「面」としての測定結果を求めるイメージです。

面的な測定では、ホットスポットの見落としを減らすことができます。今年度、実際に大川原や中屋敷の宅地80か所で測定を行いました。

今後も、これらの方法を駆使して「見える化」に挑戦し、お伝えしていきます。

会津若松市発着 春の裏磐梯（北塩原村）と台湾ベリーダンス堪能ツアー



北塩原村からのお知らせです。大熊町民を対象とした「春の裏磐梯と台湾ベリーダンス堪能ツアー」が5

月2日（木）、会津若松市発着で開催されます。

五色沼湖沼群の散策や桧原湖の湖上遊覧、ラビスパ裏磐梯での温泉入浴など、裏磐梯の魅力をぎゅっと詰め込んだツアーです。

また、台湾の舞踊団によるベリーダンスの鑑賞もご紹介します。踊りを披露するのは、大熊町民など浜通りの被災者が北塩原村に避難していた2011年6月、避難所を慰問した台湾舞踏家協会の皆さんです。

※この事業は「復興ありがとうホストタウン」事業の一環です

■開催日

5月2日（木・祝）

■行程

会津若松市各地（午前8時15分～45分）→五色沼湖沼群散策→ラビスパ裏磐梯（昼食、ベリーダンス鑑賞、温泉入浴）→村内観光（桧原湖遊覧船、裏磐梯物産館、諸橋近代美術館）→会津若松市各地（午後5時30分～6時）
※乗降場所は年貢町団地、大熊町役場会津若松出張所、会津若松駅からお選びください

■代金

1人1,000円（税込。昼食代、バス代、施設入館料、遊覧船乗船料、保険料含む）

■対象

大熊町民とその家族

■募集人数

40人（最少催行人数10人、応募多数の場合は抽選）

■申込方法

住所、氏名、年齢、性別、電話番号、乗降場所を記入し、官製はがきまたはFAXで申し込み。2011年6月に舞踊団のベリーダンスをご覧になった方は、その旨、記載してください。

■申込先

〒965-0007 会津若松市飯盛三丁目3-34 アールエイチ企画「春の裏磐梯堪能ツアー」係

FAX 0242-28-5667

■募集期間

4月1日（月）～10日（水）

※はがきは10日の消印まで有効

■添乗員

同行しません。北塩原村役場スタッフが同乗してご案内します。

問 北塩原村役場 総務企画課 企画室

☎ 0241-23-3112

お引っ越しされた方は 町役場にもお知らせください

町役場に届け出ていた避難先が変わったら、新しい避難先をお知らせください。届け出は会津若松出張所住民課、いわき出張所、中通り連絡事務所の各窓口で受け付けています。手軽にできる郵送や電話での届け出も受け付けています。

■郵送の場合

役場にある「避難住民届」を記入して送るか、次の項目を記載したメモを送ってください。

- ①記入者氏名②大熊町の住所③対象者の氏名、生年月日
- ④避難先住所⑤避難先の滞在開始日（住み始めた日）
- ⑥電話番号・所有者名⑦広報の送付を希望するかどうか

■電話の場合

会津若松出張所住民課までお電話ください。

問大熊町役場会津若松出張所 住民課 避難者名簿係

<仮設住宅や借上げ住宅を退去する方は…>

なお、仮設住宅、借上げ住宅を退去する場合には、「仮設住宅等使用終了届」を提出してください。

問大熊町役場会津若松出張所 生活支援課
大熊町役場いわき出張所 生活支援係

新入学（園）児童・園児の 交通事故防止運動

4月6日（土）から4月12日（金）までの1週間、「新入学（園）児童・園児の交通事故防止運動」を実施します。家庭、学校、地域が一体となり、新入学児童や園児の交通事故を防止しましょう。

■運動スローガン

歩行者を守る気づかい 思いやり

■年間スローガン

みんながね ルールを守れば ほら笑顔

■運動の重点

- ・新入学（園）児童・園児の交通事故防止
- ・全ての座席のシートベルトとチャイルドシートの正しい着用の徹底
- ・道路横断中の交通事故防止とゆずりあい運転の実践

問大熊町役場いわき出張所 環境対策課



夜光反射材を付けましょう

各種お問い合わせ先のご案内

<片付けごみの回収>

- ・ごみステーション回収

大熊町全域のごみステーションに出された片付けごみを回収しています。

- ・個別回収

除染実施区域（中屋敷、大川原）および特定復興再生拠点区域内に住居がある方については、粗大ごみ等の個別回収や東京電力による片付けサポート等も実施しています。片付けのためのフレコンバッグが必要な際は、お申し込みください。

■お申し込み先

大熊町片付けごみサポートセンター ☎ 0120-50-8832

問福島地方環境事務所 浜通り南支所（廃棄物担当）

☎ 0240-25-8993

<被災家屋の解体申請受付窓口>

環境省では、除染実施区域（中屋敷、大川原）および特定復興再生拠点区域内の被災家屋等の解体申請を受け付けています。解体を希望する際は、必要書類等の確認のため、事前に次の窓口までお問い合わせください。

場 大熊町役場いわき出張所 駐車場スペース内

時 平日午前8時30分～午後5時15分

問 環境省業務受注業者

（受注者が決まり次第、お知らせします）

☎ 0120-700-908

<町内の灯油回収>

ご家庭に残置されている灯油等の回収を受け付けています。回収を希望される方はお申し込みください。

※回収は環境省、受付は東京電力ホールディングスが行っています

■回収の対象となるもの

すべての石油類および塗料等（ポリタンク、オイル缶等は容器ごと回収します）

■回収できないもの

汚染度の高い灯油容器等、ホームタンク、暖房器具、車両、農機具等の廃油

■お申し込み先

東京電力ホールディングス 福島復興本社大熊町グループ

☎ 080-6842-2349（平日午前9時～午後5時）

<被災家屋の損壊調査>

り災証明書の発行を希望される方は、家屋を取り壊す前に必ず被災家屋の損壊調査（家屋調査）が必要です。取り壊した後では調査ができなくなります。まだ申し込みされていない方はご連絡ください。

問大熊町役場いわき出張所 税務課

<除染と中間貯蔵施設の全般に関するお問い合わせ>

環境省では、除染と中間貯蔵施設に関するお問い合わせを受け付ける総合窓口を設置しています。

問 除染と中間貯蔵施設に関するお問い合わせ窓口

☎ 0120-027-582

（日祝日を除く午前9時30分～午後6時15分）

すまいるサロン

時 4月22日(月) 午前10時～午後3時
場 大熊町役場いわき出張所 2階調理室
持 マイカップ、おむすび(昼食)
☎ 080-1830-5567 (小林)

積小為大の会

内 花見(桜の名所または植物園)
時 4月14日(日) 午前11時～午後2時
場 水戸市内で検討中
☎ 080-1657-7286 (浅野)

野馬形区

平成31年度総会・懇親会を開催します。出欠は郵送するはがきでご連絡ください。多くの皆さん、ご家族おそろいでのご参加をお待ちしています。

時 6月2日(日)～3日(月) ※日帰りも可
 午後4時30分～総会、午後6時～写真撮影と懇親会
場 五浦観光ホテル別館大観荘(北茨城市大津町722)
費 郵送した案内に記載
期 5月20日(月) 消印有効
 ※交通費補助あり。はがきは4月中旬までに送ります。届かない方はご連絡ください
☎ 090-3598-8700 (区長・土屋繁男)

昭和37年度卒 大野中学校同級会

時 5月19日(日) 午後4時受付、午後6時開会
場 ホテルエピナール那須(栃木県那須町高久丙1)
費 20,000円 **期** 4月20日(土) までに返信はがきで
☎ 090-7079-1492 (鈴木章一)
☎ 090-2364-5981 (武内弘)
☎ 090-3121-0381 (林洋一)

熊川区

平成30年度総会を開催します。終了後に宿泊による懇親会も開きます。家族の参加も可能ですので、多数のご参加をお待ちしています

内 総会(平成30年度決算報告、おおくま絆事業補助金報告、賠償・補償の報告、その他)
時 5月11日(土)～12日(日)
 午後3時～総会、午後6時～懇親会
場 ホテル美里(いわき市常磐湯本町吹谷57-2)
☎ 090-8251-4667 (区長・宇佐見)

下野上2区

<総会・親睦会>

震災から8年の歳月が過ぎましたが、皆さまいかがお過ごしでしょうか。総会と親睦会を開催します。

時 4月20日(土)～21日(日)
 午後3時～集合、3時30分～総会、6時～親睦会
場 いわき湯本温泉 吹の湯(いわき市常磐湯本町吹谷48)
費 町行政区絆維持補助金を活用します。一世帯何名でもご参加ください。
☎ 090-9632-1619 (小泉昌弘)

<パークゴルフ>

冬の運動不足を解消するため、パークゴルフを企画しました。初心者でも大丈夫です。

時 4月20日(土) 午前9時30分集合、10時スタート
場 広野町二ツ沼総合公園パークゴルフ場(広野町下北迫字大谷地原65-3)
費 町行政区絆維持補助金を活用します。一世帯何名でもご参加ください。
申 郵送したはがきを返送してください
 ※昼食は準備します
☎ 090-9632-1619 (小泉昌弘)

	団体名	拠点	代表	お問い合わせ先
県内	大熊町いわき会	いわき市	伊藤 憲顕	090-9746-6419
	おおくまいわき友の会	いわき市	池田 義明	090-3643-2967
	大熊町山田会	いわき市南部	三瓶 道教	090-2958-4174
	ふるさとおおくま会	浜通り南部	石橋 英雄	090-2270-8138
	すまいるサロン	いわき市	熊谷美香子	080-1830-5567 (小林和子)
	古滝屋温泉日帰りお茶会	いわき市	市川 スミ	080-6007-6824
	おおくままち北浜グループ	浜通り北部	小林 五藏	080-1814-9819
	おおくま町会津会	会津若松市	浅野 孝	090-7078-2327 (山本三起子)
	ママだってやってみ隊	会津若松市	三瓶 美和	090-6259-7933 (阿部智英子)
	もみの木	白河市	深代 賢治	090-9531-1595
	こらんしょ大熊	県北地方	菅野 充史	090-2361-7451 (泉広隆)
	大熊町の明日を考える会	県中地方	太田 文代	080-1808-8333
	おおくま中通り会	中通り	斎藤 重征	090-8423-6515
県外	茨城おおくま友の会	茨城県内	玉澤 優子	090-3754-7849
	積小為大の会	茨城県内	浅野 秀蔵	080-1657-7286
	スイートめろん	茨城県南部	梶原美智雄	080-5229-2006 (星川美智子)
	栃木おおくまの会	栃木県内	松本 光清	090-5838-1258 (武内都)
	埼玉・おおくま友の会	埼玉県内	倉嶋 要三	090-7934-8508
	ひまわりサロン	埼玉県川口市	島田由紀子	080-5431-0123
フレンドリー東北	仙台市	木幡 伸夫	090-4314-8444	

教えて ヘルシーライフ

大熊町民の健康課題 TOP 3

大熊町総合健診の結果から、昨年よりさらに町の健康課題が詳しく分かってきました。

1位 脂質

・中でも「LDL（悪玉）コレステロール」が高い人が多くいました。
→血管の壁を厚くさせ血の巡りを悪くし、血管を詰まらせる要因になります。

2位 糖

・中でも「HbA1c（ヘムoglobin-A1c）」が高い人が多くいました。
→日常的に血糖値が高い状態。免疫力を低下させたり、血管を硬くし老化を進めます。

3位 血圧

・中でも収縮期（上の）血圧が高い人が多くいました。
→血管に強い圧力がかかっている状態。血管にダメージを与え、心疾患や脳卒中の引き金になります。

対策は？

- ①日常生活の活動量増加と運動習慣をつくる
- ②間食や塩分に気をつける
- ③休養（睡眠・ストレス対処）を大切にする

次号からは、皆さんの実生活に生かせるような具体的な方法をお知らせしていきます。

☆お楽しみに☆

かかとで数字を描く

片方の足を伸ばし、かかとで空中に「1」から順に数字を書きます。「10」までを目標に、息は止めずに無理せずにおへその辺りに力を入れながら行いましょう。



★テレビを見ながら

つらくない すぐできる 簡単

ながら運動



★ゴロゴロしながら

かかとでお尻トントン

うつ伏せになってひざを軽く曲げ、トントンとかかとでお尻を叩きます。目安は20回。かかたがお尻につかなくてもOK！腰をそらさないように注意しましょう。

管理栄養士のおススメレシピ

オクラを茹でるだけの簡単減脂（ヘルシー）料理。ごまたっぷりでおしさアップ。
（1人分 50キロカロリー）

●● 材料（2人分） ●●

- ★オクラ ……80 g
- ★長芋 ……40 g
- ★酢 ……小さじ2
- ★砂糖 ……小さじ1
- ★白すりごま ……大さじ2

●● つくり方 ●●

- ①沸騰したお湯でオクラをさっとゆでて、水でさらし水気を切って斜め切りにする
- ②長芋は4cm長さの短冊切りにする
- ③酢、砂糖、白すりごまを和える

♠ オクラと長芋のごま酢



子育てひろば

内 自由遊び、身長体重測定、食事や育児の個別相談
時 4月9日(火)、23日(火) 午前9時30分～11時30分
場 大熊町役場いわき出張所 2階 **申** 不要
対 未就学児と保護者(祖父母も可) **持** 飲み物、おもむつ
問 大熊町役場いわき出張所 健康介護課 保健衛生係

出前！健幸講座 in 梨の実サロン

内 自分のカラダを知ろう！体脂肪・体内年齢測定
時 4月17日(水) 午前10時～11時30分
場 梨の実サロン平 **対** どなたでも **申** 不要
問 大熊町役場いわき出張所 健康介護課 保健衛生係

脳力アップ教室 (いわき)

認知症予防のため、頭と体を動かしながら脳を活性化させる教室です。4月～9月まで月2回の12回コースで行います。運動が苦手な方でも大丈夫。男女問わず、ご参加ください！

内 シナプソロジー、ストレッチ、音楽に合わせた体操
時 4月8日(月)、22日(月) 午前10時～正午
場 小名浜公民館 3階視聴覚室
対 60歳以上(3月末時点の年齢) **定** 先着25人
持 動きやすい服装、下履き、飲み物 **申** 電話で前日までに
問 大熊町役場いわき出張所 健康介護課 包括支援係

★シナプソロジーは脳を活性化するプログラムです



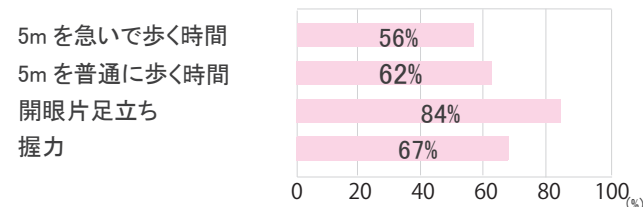
★ストレッチでリフレッシュ



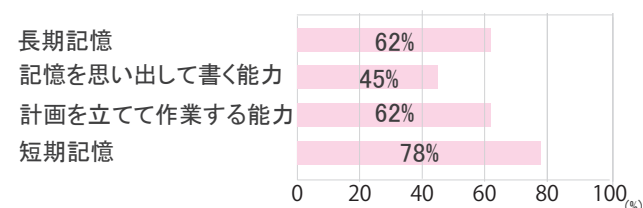
★音楽に合わせた体操は有酸素運動です



★体力が向上した人の割合



★認知力が向上した人の割合



教室に参加する前と参加した後では認知力・体力測定ともに向上した結果が出ています。皆さんもぜひご参加ください。(グラフは2018年度脳力アップ教室参加者の体力測定、認知力測定結果)

総合健診に関する意向調査にご回答ください

この用紙が届くよ
4月19日までに
回答してネ



町では、町民の皆さんの各種健診に関する希望を把握するため、20歳以上の方を対象とした意向調査を、今月上旬に発送します。今年度は大熊町での開催も検討しています。受診を希望する、しないに関わらず、4月19日(金)までにご返送ください。

健診は、一人一人が自分の健康状態を把握し、生活習慣病の予防や疾病の早期発見、早期治療につなげるためのものです。一年に一度は必ず受診しましょう。

問 大熊町役場いわき出張所 健康介護課

★高齢者に関する困りごとは、町地域包括支援センターへご連絡ください

★母子手帳をもらった県外在住の妊婦さんに、町から送るものがありますので、健康介護課へ連絡ください。

副町長室から

石田 仁



先人を思い

暖冬の影響で桜前線も北上し、間もなく福島県でも桜が開花しそうです。新しい元号も発表され、改元まであとひと月となりました。町内では連休明けに役場庁舎が業務を開始し、復興公営住宅の入居も6月に迫りました。

平成を顧みますと、アフリカの内戦や9・11以降のアフガン侵攻、イラク戦争、リビア内戦、シリア内戦、ISとの闘いなど依然として戦争やテロが絶えない状況です。一方、日本においては天皇陛下のお言葉の通り、国民の不断努力によってなされた戦争のない平和な時代を過ごすことができました。昭和の時代、太平洋戦争で日本人は軍人が230万人、一般人が80万人死亡しました。私の父親や叔父たちは、敗戦後の部隊解散により復員しています。

戦地からの帰還者は、亡くなった戦友に対しての責任と国の復興を願い、生き残った国民とともに懸命に働いて日本の復興をなし終え、現在の私たちの社会の礎を作りました。その先人の尽力のおかげで、戦争に巻き込まれることもなく、戦後70有余年、平和な時代を生きてこられたものと感謝しています。

町ではこの春、8年の長き避難生活を経て、一部ではありますがようやく帰還が始まろうとしています。これまで町を築いてきた先人に思いを馳せ、3・11以後ご支援をいただいた方々に感謝しながら帰還します。さらに大川原を拠点にして着実に避難指示解除区域を広げ、次の世代につながる復興を目指して、故郷での第一歩を踏み出したいと念じています。

広報おおくま

紙面リニューアルしました

新年度を迎え、広報おおくまは紙面をリニューアルしました。主な変更点は次のとおりです。今後とも、よろしくお願いいたします。

★表紙のデザイン変更

…より見やすく、親しみやすい字体を使用しています

★お知らせ面をスッキリと

…重要なお知らせは大きく、一般のお知らせも見やすく掲載します

★新コーナー「すこやかライフ」

…これまでそれぞれ別に掲載していた「ほげんだより」「こちら包括です！」
「教えておおちゃんヘルシーライフ」を一つにまとめました

★「町民掲示板」を充実

…より多くの情報をお伝えできるよう構成を変更しました

★最終面に新連載「書庫から一枚」

…震災で散乱し、撮影日などが分からなくなった町所有の写真を、毎月1枚ずつ紹介します



ご結婚おめでとう

花むこ	住所	花よめ	住所
朽久保博幸	東平	蛭田麻美	いわき市

おくやみ申し上げます

死亡者名	年齢	住所
吉田 定仁	66歳	金谷平
會田 秀子	93歳	清水
長谷川 登	68歳	原
鈴木トミコ	83歳	清水
鈴木 義子	74歳	大野
渡邊 良子	93歳	大野
田中由香子	36歳	大野
青田 節子	88歳	滑津
大和田健治	60歳	高平

※ 2019年2月

おおくまアプリ
サポートセンター
☎ 0120-090-215
(フリーダイヤル)

大熊町公式サイト



大熊町公式 Facebook 「おおくま広報室」



4月は毎年、新年度の施政方針と当初予算を紹介していきます。どちらも硬いイメージでとっつきにくく、どうしても読みやすくて読めるか、毎年苦心します。せめて関心のあるテーマにたどり着きやすい紙面にすることを心掛けてました。すべて読もうとなさらずに、興味を引いた部分から目を通してほしいです。町が今後1年間で取り組むことを少しでも知っていただければと思います(村井)

編集後記

町民避難先

(2019年3月1日現在)

都道府県	人数	福島県内	人数
海外	1	福島市	206
不明	0	会津若松市	782
北海道	34	郡山市	1,073
青森県	19	いわき市	4,650
岩手県	2	白河市	64
宮城県	195	須賀川市	98
秋田県	22	喜多方市	40
山形県	42	相馬市	100
福島県	7,867	二本松市	31
茨城県	478	田村市	62
栃木県	201	南相馬市	281
群馬県	82	伊達市	6
埼玉県	360	本宮市	44
千葉県	263	桑折町	5
東京都	255	国見町	2
神奈川県	173	川俣町	0
新潟県	184	大玉村	42
富山県	6	鏡石町	11
石川県	12	天栄村	0
福井県	8	下郷町	0
山梨県	6	檜枝岐村	0
長野県	10	只見町	0
岐阜県	5	南会津町	3
静岡県	16	北塩原村	1
愛知県	6	西会津町	1
三重県	5	磐梯町	7
滋賀県	0	猪苗代町	9
京都府	7	会津坂下町	17
大阪府	20	湯川村	3
兵庫県	6	柳津町	0
奈良県	0	三島町	0
和歌山県	4	金山町	1
鳥取県	0	昭和村	0
島根県	0	会津美里町	21
岡山県	3	西郷村	19
広島県	1	泉崎村	16
山口県	2	中島村	0
徳島県	0	矢吹町	17
香川県	0	棚倉町	1
愛媛県	2	矢祭町	0
高知県	0	塙町	0
福岡県	22	鮫川村	0
佐賀県	3	石川町	3
長崎県	2	玉川村	2
熊本県	0	平田村	0
大分県	10	浅川町	7
宮崎県	24	古殿町	7
鹿児島県	1	三春町	65
沖縄県	8	小野町	9
計	10,367	広野町	69
		檜葉町	30
		富岡町	12
		川内村	11
		大熊町	0
		双葉町	0
		浪江町	6
		葛尾村	2
		新地町	31
		飯館村	0
		計	7,867

●人口および世帯

2011年3月11日時点
11,505人 4,235世帯
2019年2月28日現在

人口	10,367
増減	△ 1,138
世帯数	3,799
増減	△ 436

ふるさとに対する想いや避難生活で感じていることなど、届けられた想いを共有し、「おおくま」と皆さまを「絆(きずな)」でつないでいくことができれば幸いです。

記者が避難先へ訪問し、インタビューした内容をもとに文章を作成します。

あなたも想いを伝えてみませんか？

問 大熊町役場会津若松出張所 総務課秘書広聴係

私は29歳の時にサラリーマン生活に終止符を打ち、そば打ち職人の道を歩み始めました。そばの名店で2年ほど修業し、1989年10月に大熊町で「蕎麦切りたか山」を創業しました。横浜生まれで、大熊町には何の縁もありませんでしたが、妻の生まれが小高町だったため福島県浜通りには土地勘がありました。そば店を営みながら自然豊かな場所での子育てをしたいという希望にあった場所が大熊町でした。それから20年以上、地域の皆さんに支えられながら営業を続けていました。

震災が起きた時、私は埼玉県大宮市にいました。2日後に妻と連絡が取れ、母親と一緒に三春町の分校に避難していることが分かりました。東京にいた長男と一緒に避難所に向かい、無事に再会でき

たのは震災から4日後でした。その後、埼玉県越谷市の賃貸マンションで暮らしていましたが、半年ほどして、同じ越谷市で無償でマンションを貸してくれるという方と出会いました。話を伺うと「出張で長期間使わないので、好きに使ってください」とのことでした。気の置けない友人も紹介してくれ、皆さんとても親切にしてくれました。見ず知らずの私たちに、こんなに温かく手を差し伸べてくれる方がいることに感激した出来事です。

避難して1年が過ぎたころ、味覚・嗅覚障害であることを自覚するようになりました。現在は良い医師に巡り会い、症状は改善していますが、当時は「もう自分の店を持つことはできない」と喪失感に駆られました。そんな状況を打開しようと、妻と一緒に参加したフランチャイズ経営の展示会で興味を持ったのが和太鼓教室でした。後日、改めて妻と体験教室に参加した時、無心で太鼓を叩くうちに爽快な気持ちになっっている自分に気づきました。震災後、落ち込んでいた妻も笑顔になっっているのを見て「和太鼓には人を元気にする力がある。この元気を多くの人に届けたい」と和太鼓教室の経営を決意しました。

教室は2013年5月に開校し、もうすぐ6年を迎えます。会員の方は老若男女様々ですが、太鼓を叩いている時は皆さん活き活きとした表情をしています。現在は娘も参加し、家族3人で力を合わせて教室経営に取り組んでいます。今後この場所から和太鼓を通じて元気を発信していきたいと思えます。



東京都町田市

たかやま つねあき
高山 恒明さん

町内で23年間、そば店を経営していたが、避難生活中に味覚・嗅覚障害を発症。そば店再開を断念せざるを得なかった。

その後に出会った和太鼓に魅了され、東京都町田市で和太鼓教室を運営している。

タイコラボ
TAIKO-LAB町田

住所 (レッスン会場)
東京都町田市原町田4-11-14
コロンプスビル6F

電話 080-5953-4027

ホームページ

<http://www.taikolab-machida.com>

絆

きずな おおくま ふれあい通信



茨城県高萩市

にいつましげる
新妻 茂さん

大熊町見回り隊の隊員として
設立当初から活動し、自宅のある
大川原地区の変化を見守って
いる。

自宅で野菜や季節の花々を栽
培する傍ら、町や県の委託を受
け、町内にある実証田やヒマワ
リ畑の管理にも協力している。

大熊町見回り隊の仕事には、設
立当初の2012年12月から携わ
り、現在まで6年以上にわたって
続けています。自分のふるさとが
気がかりだったというのが始めた
きっかけです。また、同じ時期に
大川原地区の先行除染も始まって
いたため、パトロールをしながら
その様子を自分の目で見たいとい
う思いもありました。始めた当初
は町のいたるところが荒れ放題で
「これは帰ることができないので
はないか」と思うこともありまし
たが、ここ2、3年で大川原地区
は見違えるように変化しました。
自宅の前にはメガソーラー発電所
が広がり、すぐ近くには植物工場
が出来上がろうとしています。役
場新庁舎や災害公営住宅の完成も
間近に控え、帰還に向けた動きが

少しずつ感じられるようになって
います。

見回り隊の仕事以外でも、月に
10日ほど大熊町の自宅に通って
います。自宅の片付けや野菜の栽
培、花壇の整備など、やり始める
と仕事はいくらでもあります。自
宅での作業の他、町が主体となっ
て行っている実証田や試験ほ場の
維持管理を町の産業建設課の職員
と一緒にを行っています。また去年
からは「大熊町ひまわりプロジェ
クト」のヒマワリ畑の維持管理も
手伝うようになりました。やるこ
とが多く大変な時もありますが、
自分の体が健康なうちはなんでも
協力したいです。それが自分が生
まれ育った大熊町への恩返しだと
思っています。

東日本大震災から8年が経過し

ました。避難生活を通して、私が
大切にしてきたのは感謝を伝える
気持ちです。地震が起きた次の日、
私は家族と共に田村市の体育館へ
避難しました。地震の直後で頭が
混乱していましたが「自分にでき
ることはやろう」とトイレ掃除や
ごみ拾いをしました。4月になり、
会津若松市内の温泉施設に避難し
た時は敷地内の草刈りをし、7月
に仮設住宅に入ってからからはごみ拾
いを定期的に行い、道路脇に花を
植えました。いま暮らしている高
萩市に来てからも、近くの河川の
草刈りをし、小さな公園に花を植
えています。些細なことかもしれ
ませんが、私なりの感謝の伝え方
をこれから先も大切にしていきた
いと思っています。

絆おおくまふれあい通信は、今回で最終回となります。ご登場いただいた方、ご愛読いただいた方、これまでありがとうございました。

📷 書庫から一枚 ①

大熊町役場旧庁舎の書庫に保管されている写真は、震災で散乱し、撮影日や撮影趣旨が分からなくなったものが数多くあります。誰かの思い出のワンシーンかもしれない一枚を紹介します。この写真について、何かご存じの方、情報をお寄せください。 問大熊町役場会津若松出張所 総務課 秘書広聴係



★撮影年月日

…不明

★撮影場所

…JR大野駅

★その他

…かなり大勢の方たちが電車を待っているようです。駅舎は昔の木造です。手前に白い布を敷いたテーブルがあります。人々の背後に古い電車がわずかに見えます。

大熊町役場

会津若松出張所 〒965-0873 会津若松市追手町 2-41

(総務課、企画調整課、住民課、福祉課、生活支援課、出納室、教育総務課、議会事務局)

☎ 0120-26-3844 (フリーダイヤル)

いわき出張所 〒970-1144 いわき市好間工業団地 1-43

(健康介護課、環境対策課、産業建設課、復興事業課、生活支援係、庶務係、税務課)

☎ 0120-26-5671 (フリーダイヤル)

中通り連絡事務所 〒963-8035 郡山市希望ヶ丘11-10

☎ 0120-24-1013 (フリーダイヤル)

大川原連絡事務所 〒979-1306 大熊町大字大川原字南平 1138-2

☎ 0120-23-1095 (フリーダイヤル)

現地連絡事務所 〒979-1306 大熊町大字大川原字手の倉 125 坂下ダム管理事務所内

☎ 0240-32-2318

関連施設

おおくままちづくり公社

〒970-1144 いわき市好間工業団地 1-43 大熊町役場いわき出張所内 ☎0246-85-5237

梨の実サロン平

〒970-8026 いわき市平字新田前 6-10 ☎0246-38-3236

大熊町社会福祉協議会

〒970-1144 いわき市好間工業団地 1-43 大熊町役場いわき出張所内 ☎0246-38-8938

大熊町商工会

〒970-1152 いわき市好間町中好間字上川原 36-1 ☎0246-85-5103